

6月1日～7日は「HIV検査普及週間」です HIV検査を受けましょう

6月1日(月)～7日(日)は、HIV検査普及週間です。京都市では、これまでに、合計約270人を超えるHIV感染者・エイズ患者の報告があります。自分は大丈夫と思わず、まずはHIV検査を受けましょう。

●検査実施日/毎週金曜日午前9時～11時(予約不要)

※検査結果は2週間後にお渡しします。指定の日に必ず本人がお越しください。

●費用/無料

※検査は、匿名で受けられます。また、HIV検査とあわせて、クラミジア、淋菌、梅毒の検査も無料でを行っています。

●検査場所・問い合わせ先/区保健センター成人保健・医療担当(☎592-3477)



京都市 HIVマスコット「あかりん」

忘れていませんか? お口の健康

歯科相談、予防健診を受けてみませんか。

乳幼児歯科相談

- 対象/0歳～就学前の方
- 日時/偶数月第4水曜日(12月のみ第2水曜日)
- 午後1時30分～2時30分(要予約)
- 持ち物/母子健康手帳、歯ブラシ
- 費用/無料
- 予約・問い合わせ先/区保健センター母子・精神保健担当(☎592-3479)

成人妊婦歯科相談

- 対象/18歳以上の方、妊産婦の方
- 日時/毎月第4金曜日
- 午前9時～10時30分(予約不要)
- 費用/無料
- 問い合わせ先/区保健センター成人保健・医療担当(☎592-3477)

ワンコインでうけられる!!! 歯周疾患予防健診

- 対象/市内在住の満40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の方(年1回)
- 実施場所/指定医療機関(京都市のホームページを参照。歯科医院にはステッカーが貼られています)
- 受診方法/指定医療機関に事前に日時等をご確認のうえ受診してください。
- 健診費用/500円(免除制度あり。問い合わせ先へ、お問い合わせください)
- 持ち物/年齢が確認できるもの(健康保険証、免許証など)
- 問い合わせ先/区保健センター成人保健・医療担当(☎592-3477)

ハチの巣を見つけたら

暖かくなると、ハチの活動が活発になります。ハチを見つけた際は、以下の表をご参照のうえ、冷静な対処をお願いします。

種類	スズメバチ	アシナガバチ	ミツバチ
巣の形状・ハチの特徴	茶色いうろこ模様で球状。出入口は一つ。巣に近寄るだけで攻撃することがあります。	灰色でシャワーの噴出し口のような形で巣穴がたくさん見えます。おとなしい性格で、巣にいたずらをしなければ、刺してくることはほとんどありません。	巣分かれ(分蜂)の時、群れで移動し、壁や樹の幹、電柱などに塊となります。人を刺すことはほとんどありません。
巣の場所	天井裏、軒先、樹木、地中等	軒先や植え込み等	天井裏や樹洞等
処理方法	巣に近寄らず、問い合わせ先に連絡してください。	市販の殺虫剤で死んでしまう弱い蜂ですので、駆除はご自身で行ってください。	分蜂であれば、自然になくなります。

●問い合わせ先/区保健センター衛生課(☎592-3486)

平成27年度赤十字増強運動

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、全国的なキャンペーンや啓発活動を実施し、赤十字事業を支援していただく社員増強(社員拡大運動)を展開しています。

平成24年8月の南部豪雨災害、平成25年9月の台風18号災害や平成26年8月京都府豪雨災害においては、いち早く救援物資の配布や医療救護班を派遣しました。

これらの活動を一層推進していくために、皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

●問い合わせ先/日本赤十字社京都府支部 (Red Cross Kyoto) (☎592-30088)



地域防災最前線

山科消防団総合査閲を実施します

山科消防団(川中長治団長、区内13分団・約240名)では、安心・安全なまち山科区を目指し、日頃から区民の皆さまへの防火・防災啓発活動に取り組むとともに、地震などの大規模災害に備えて小型動力ポンプによる放水訓練を実施しています。

今年もその成果を披露するため、山科消防団総合査閲を実施します。区民の皆さまのご声援をお願いします。

- 日時/5月17日(日) 午前9時～11時30分
- 場所/山科中央公園
- 問い合わせ先/山科消防署(☎592-9755)

「山科じかん」という冊子をご存知ですか? 山科に住んでる人や働く人にスポーツが当たり、毎号「へえ、こんな人が山科に」という驚きとともに、山科を知り楽しむことのできるミニ冊子です。昨年3月の創刊号から定期的に発行され、この春には第5号が発行されました。

作成している「山科元氣☆プロジェクト」の上村さんに、作成のきっかけなど、お話を伺いました。「私が所属していた右京区の子育てのNPO法人が作成した『右京じかん』が好評で、地元山科でもぜひ作りたいと思ったのです。冊子作りは初めてだったという上村さん。生まれて育った山科でも作りたいという一心で突き進みました。創刊号を発行した後は、京都市外で編集の仕事をしていた同級生の市田さんが、タイミング良く京都に戻って来たので巻き込んで、今では上村さん、市田さん、そしてデザイン担当の田代さんの3人で作成しています。

発行は3カ月毎に1方部、幼稚園や保育園に配布するほか、公共施設やお店などに置いてもらっているそうです。「図書館はあつという間になくなるんですよ」と上村さん。だんだん知名度が上がってきて、「山科じかん」に載ったらお客さんが増えた。とお店の方に喜ばれるそうです。「山科は、京都市内なのに京都っぽくないところ、みなさんの深い山科愛が

山科を元気にします!」
●問い合わせ先/記事について: 区総務・防犯担当(☎592-3066) / 山科じかん(山科元氣☆プロジェクト)について: (☎632-8158)

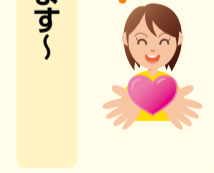
第32回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

区民活動きずなリレー

「山科じかん」という冊子をご存知ですか? 山科に住んでる人や働く人にスポーツが当たり、毎号「へえ、こんな人が山科に」という驚きとともに、山科を知り楽しむことのできるミニ冊子です。昨年3月の創刊号から定期的に発行され、この春には第5号が発行されました。作成している「山科元氣☆プロジェクト」の上村さんに、作成のきっかけなど、お話を伺いました。「私が所属していた右京区の子育てのNPO法人が作成した『右京じかん』が好評で、地元山科でもぜひ作りたいと思ったのです。冊子作りは初めてだったという上村さん。生まれて育った山科でも作りたいという一心で突き進みました。創刊号を発行した後は、京都市外で編集の仕事をしていた同級生の市田さんが、タイミング良く京都に戻って来たので巻き込んで、今では上村さん、市田さん、そしてデザイン担当の田代さんの3人で作成しています。



この3人で作っています! 右から上村さん、市田さん、田代さん



山科じかん